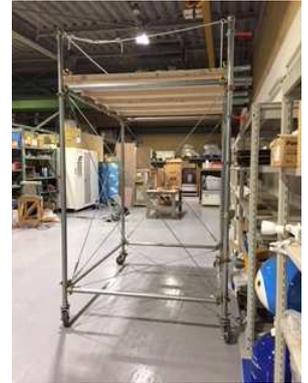


東雲だより2018

真夏が来たみたいな暑さです。
朝と昼では1日に10度も差が開くことも。体調にご留意下さい。



エコリフォームセンター内の高所作業用に移動式ローリングタワーを設置しました

今月のトピックス

エネルギーミックス

- ① 4月研修会および見学会報告
- ② 「2030年長期エネルギー受給見通し」特集
- ③ 荒尾先生寄稿「幼児と高齢者とトイレ4」
- ④ ラボ紹介「TOTO名古屋テクニカルセンター」

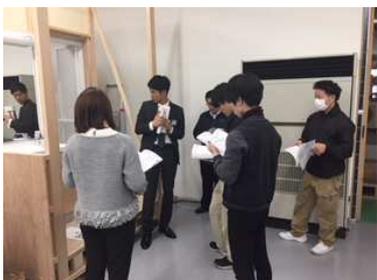
4月研修および見学報告



斎久工業様研修



丸ノ内工業様研修



シスバス現調研修



新菱冷熱工業様研修

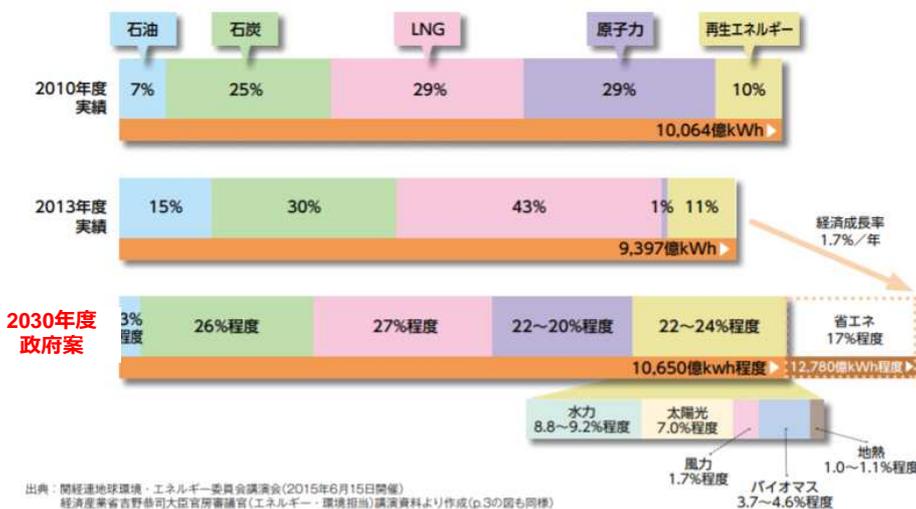
4月研修会、見学会の実績をご報告します

- 4/10 新菱冷熱工業様社員研修
- 4/16 大垣管材様見学会
- 4/17 日本総合住生活様見学会
- 4/18 システムバス現調研修
- 4/20 丸ノ内工業様社員研修
- 4/24 配管接続研修
- 4/25 斎久工業様社員研修
- 4/26 日比谷総合設備様見学会

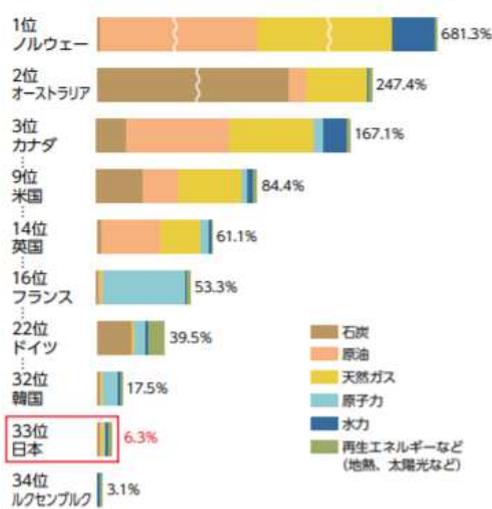
【エネルギーミックスとは】

電気を作る為のエネルギー源としては、石油、石炭、LNG（液化天然ガス）、火力、水力、原子力、太陽光や風力などの再生可能エネルギーなど様々な種類があります。これらのエネルギー源には、安全性、環境への負荷、コスト、施設の運用、供給安定性などの面で長短があります。電気の安定供給を図るため、多様なエネルギー源を組み合わせることで電源供給を最適化することをエネルギーミックスと言います。

エネルギーミックス(電源構成[総発電電力量])



(OECD諸国の一次エネルギー自給率比較(2012年))



出典: 閣議決定「環境・エネルギー委員会講演会(2015年6月15日開催) 経済産業省官野参司大臣官房審議官(エネルギー・環境担当)講演資料より作成(p.3の図も同様)

《電気代の上昇》



<FIT買取費用>



<電力コスト>



【日本のエネルギーの実態と課題】

日本は、震災以降原子力発電がほとんど稼働できておらず、それをカバーするための電源は、LNG、石炭、石油の火力に頼っています。その結果、エネルギー自給率は、震災前20%あったものが、震災後は6%に落ち込んでいます。火力のほとんどが、海外からの輸入ですので、リスクも大きく、電力コストは急上昇しています。連動して、産業や家庭の電気代も上がっています。再生可能エネルギーへのシフトやあらゆる産業の省エネ化も着実に進んでいますが、課題も多いのです。今回、**2030年にむけてのエネルギーミックスが発表されました。原子力が20~22%、再生エネルギーが22~24%となっています。**原子力の稼働と安全性の確保、電力の安定供給および電力コストのバランスが議論されることでしょう。

【参考2】再稼働の現状：我が国の原子力発電所の状況



	米国	中国	EU	日本
化石燃料自給率 ^{※1} (2015年)	84% →2020年代100%超	82%	26%	0.7%
原油中東依存度 ^{※1} (2015年)	19%	51%	18%	82%
見込みがある 将来の域内資源 (除く再エネ・原子力)	アラスカ、カナダの石油・ガス	シェールガス (埋蔵世界最大)	北極海、シェールガス	(メタハイ:研究段階)

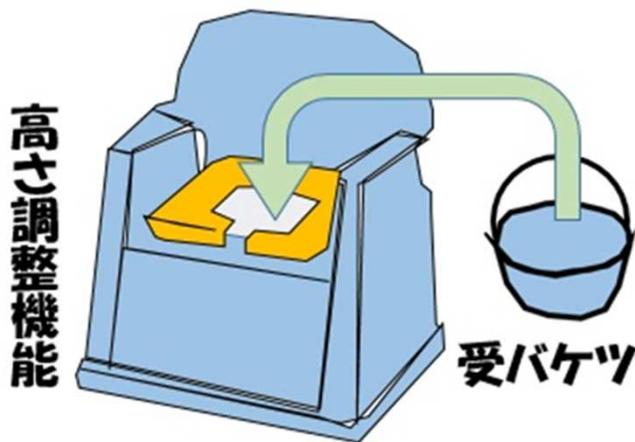
高齢になると足腰が衰えてトイレに行くのも大変になります。そんな時にベットサイドで便器があって用を足せばとても楽になるのではありませんか？

ポータブルトイレ

まず、思い浮かべるのはポータブルトイレのことでしょうか、実際には家庭だけでなく病院や福祉施設でも多く利用されていることは事実です。タイプもいろいろありますが、基本的にはいす形状で座るところに受バケツがあって使用後は排泄物を処理して再使用するというものです。各製品は人が一人で運べるくらい軽くできていて必要に応じて移動しながら使用できるタイプが一般的のようです。また、座る位置の高さを調整できることでなるべく多くの方に使用できそうです。ただ、そうは言っても手すりに体重をかけても大丈夫など安全面も含めていろいろな工夫も見られます。



画1 横にトイレイメージ



画2 ポータブルトイレイメージ

2. ポータブルトイレの問題点

ただ、問題と思われることは、排泄物の処理など行う必要です。つまり、誰かが溜まった汚物を処理して容器を洗って元に戻す作業が必ず必要になるのです。このことから発生する問題は、処理だけではありません。いろいろな感染症などの対策の点からも考えておかなければなりません。これらの問題を箇条書きにしてみると

a. 排泄の処理

- * 洗浄場所まで遠く、持ち運びが大変
- * 受バケツの排泄物を便器に流すときにこぼれたりして意外と大変
- * 排出した後の受バケツの洗浄はどこですか
- * 受バケツ等に付いた臭いはどうする
- * ビニール袋を受バケツにはめた場合も排泄物を流して、ビニール袋はどうする

b. その他

- * ポータブルトイレにぶつかったりして転ぶ可能性問題
- * 男性も基本座って用を足す
- * 排泄後すぐ処理しないと臭いが部屋にこもる
- * ポータブルトイレに付着した臭いと部屋の臭いの消臭剤が必要
- * 便座や受バケツなどからノロウイルスなど感染症対策が不安

この中で大きな問題は、処理と洗浄です。特に感染症に関しては使用者からの感染だけでなく、使用者に感染する心配のあるのです。使用者は高齢者などが一般的で免疫力が劣っている場合が多く、細かな配慮が必要なのです。

リフォームの話で寝室にトイレがほしいとの希望では、やはり第一にポータブルトイレをご紹介しますのが意味妥当だと思います。価格面や便利さなどからです。しかし、使用する可能性のある方の体力や免疫など症状など考慮すると別の提案もあるのです。次回はもっと具体的な話をさせていただきます。

今回は、名古屋駅前の名古屋ビルディングにあるTOTO名古屋テクニカルセンターに行ってきました。

ここは、テクニカルセンターとしては最新の施設で、住宅だけでなく非住宅用の商品やプランを提案展示しています。予約制で、専門家向けとなっております。建築士、設計士、ハウスメーカー、ゼネコン、サブコン等が対象。設計のコンセプトからプランのご検討、実際の商品選定まで、トータルな提案のお手伝いをしています。

各種の便器を通水、通電して、排水の洗浄状態の実演ができます。

また、多目的トイレの設計プランの検討も可能です。TOTOの歴史などの展示もあり見ごたえがありました。

〒450-6412
名古屋市中村区名駅3-28-12
名古屋ビルディング12F



東雲だより5月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — 健康志向 —

日頃特に健康志向な人でも無いのですが、たまにはセルフマッサージでデトックスでもしてみようと思い立ち、旅行先で香りが一番大人しい『サンダルウッド』のオイルを買ってみました。しかし買ったのは良いが、サンダルウッドの正体が分からず。調べて見ると、日本では『白檀』と呼ばれていて。冷ややむくみを改善したり、抗菌・消炎作用もあって、更に香りを嗅ぐだけで深いリラクゼーション効果を得られるんだそう！何気に選んだオイルだったけど、冷え性だしライラしがちな私には心身ともにスッキリさせてくれる万能オイルのようでラッキーでした！改めて嗅いで見ると、確かに仏像とかの周りでこういう匂いがするな〜っと。お香では定番の香りらしいので、それととっても馴染みの深い匂いがしたんですね。今年の梅雨はこのオイルで乗り切ろうと思います。



ついでに、今薬草のゼリーにはまり始めています。ホテルの朝食バイキングにコーヒーゼリーかな？という見た目のゼリーがあったんですけど、それが仙草ゼリーで、食べて見るとちょっと正露丸の味に似ているような？？仙草は解毒作用があるそうなのでこちらがデトックスに最適ですね！ところがいざ買おうと思うと輸入食品店に無くて、代わりに見つけたのが『亀ゼリー』でした。亀の腹甲の粉末が入っているようでちょっと気持ち悪い気がしたんですけど、物は試しで食べてみたら、黒蜜&ハーブのど飴みたいな味で身体に良さそう！味も結構美味しい！癖になる苦味にすっかりノックアウトですぐに追加購入してしまいましたが、美容効果はもちろん、解熱・夏バテにも効果があるそうなので、これからの季節は全ての人の味方になってくれそうです。



佐藤 深雪

お問い合わせは

みらいエコリフォームセンター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内
TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月~金9:00~17:00 土:応相談

●お問い合わせは
TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

